



2018年

CSR サイトレポート



昭和電工株式会社
堺事業所

目次

事業所長のメッセージ	1	
会社概要	2	
堺事業所環境方針	3	
環境マネジメントシステム	4	環境組織図、環境目標と活動実績
	5	環境負荷の概要
環境活動	6	廃棄物削減活動
	7	省エネルギー活動、アルミ缶回収活動
	8	化学物質管理
環境負荷データ	9	工業用水・水道水使用量
	10	水質測定結果
	11	大気測定結果
環境と従業員にやさしい企業風土づくり	12	教育訓練・啓発
	13	安全衛生
	14	工場見学会・地域清掃活動

■ 報告対象期間

本文中に「年」と記載された項目は2017年1月～12月を、
「年度」と記載された項目は2017年4月～2018年3月を
対象としています。

事業所長のメッセージ

CSRサイトレポートを発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

平素は昭和電工(株)堺事業所の事業活動にご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

昭和電工グループは製品・サービス・事業を通じて、社会から評価・信頼される企業「社会貢献企業」の実現をめざして、CSR(企業の社会的責任)活動を推進しております。この「社会貢献企業」を実現するために、年初に経営方針並びにRC活動計画・目標を定め、それを1年間実行してその結果を年末に評価して次年度の計画に反映し、継続的改善を図っております。

当社グループ全体の活動は、「統合報告書」にて毎年公開しており、堺事業所のCSRの取り組みについても「堺事業所・CSRサイトレポート」としてまとめ、地域の皆様をはじめ当事業所を取り巻く関係者の皆様にご報告させていただいております。

当事業所は、1933年(昭和8年)に高田アルミニウム器具製作所堺工場として操業を開始し、その後、昭和アルミニウム(株)に社名変更、そして2001年に昭和電工(株)堺事業所となりました。現在では電解コンデンサ用高純度アルミニウム箔、建材やキャップ・プリント基板に使用されるアルミ板を生産しております。特に高純度アルミニウム箔は、国内のシェアアップはもちろん、マザー工場としての堺事業所と中国・南通工場のフル生産によりグローバルシェアのアップを目指しています。

安全面におきましては、堺の安全文化の再構築をめざし様々な活動を行った結果、2015年～2017年の3年間完全無災害を達成しました。環境面も9年連続で無事故を達成しております。『安全に絶対はない』ことを肝に銘じ、今まで以上に環境・安全に留意して事業活動を進めてまいります。

なお、当事業所では、2001年に「環境マネジメントシステム(ISO14001)」「(生産活動において生じる環境負荷を適正に管理して継続的に低減するシステム)」の認証を取得し、2001年以降17年間様々な環境活動に取り組み、その成果は着実に環境負荷低減へ繋がっています。

これからも、事業活動による地球環境への負荷を最小限に抑えるという基本認識のもと、省エネルギー、廃棄物削減、リサイクル推進等に取り組んでまいります。今後も引き続き、環境に配慮した事業活動を進めていきたいと考えておりますので、本レポートをお読み頂き、皆様からの率直なご意見、ご質問、ご指導を頂戴できれば幸いに存じます。



2018年12月
昭和電工株式会社
堺事業所長

猪川 克彦

昭和電工株式会社

経 営 理 念

私たちは、社会的に有用かつ安全でお客様の期待に応える製品・サービスの提供により企業価値を高め、株主にご満足いただくと共に、国際社会の一員としての責任を果たし、その健全な発展に貢献します。

- 設立 1939年(昭和14年)6月
- 資本金 約1,406億円(2018年9月末現在)
- 従業員 連結 11,490名(2018年9月末現在)
- 本社所在地 東京都港区芝大門1-13-9
- 売上高 連結7,804億円(2017年12月期)
- 主要製品 石油化学、化学品、無機、エレクトロニクス、アルミニウムなど

堺事業所の概要

1905(明治38)年 3月	初代社長アルミニウム鑄造業を創始
1933(昭和 8)年 1月	堺工場操業を開始
1935(昭和10)年12月	株式会社設立
	社名「高田アルミニウム器具製作所」
1939(昭和14)年 4月	本社を現堺事業所の位置に移設
1939(昭和14)年12月	圧延工場、溶解工場、板金部門の増設
1945(昭和20)年 1月	圧延ロール機の増設(6台)
1954(昭和29)年12月	圧延、製箔一貫生産設備完成
1956(昭和31)年 5月	全圧延設備の合理化を完了
1957(昭和32)年 1月	社名「昭和アルミニウム(株)」に改称
1976(昭和50)年 5月	昭和サービス株式会社設立
1984(昭和59)年 6月	事業部制の採用、組織改訂
1991(平成 3)年	イノベーション元年
1993(平成 5)年	KSS活動スタート(イノベーションII)
1999(平成11)年10月	圧延品事業部ISO9001認証取得
2001(平成13)年 2月	ISO14001認証取得
2001(平成13)年 3月	昭和電工(株)と合併
2003(平成15)年11月	ISO9002のISO9001移行
2005(平成17)年12月	TPM優秀賞受賞
2008(平成20)年 1月	コージュナル3号新設
2011(平成23)年11月	昭和電工アルミ(南通)有限公司 設立
2013(平成25)年12月	操業80周年
2014(平成26)年 4月	コージュナル4号新設

- 敷地面積 82,466 m²
- 従業員数 439名(協力企業を含む:2018年9月末現在)

昭和電工株式会社 堺事業所 環境方針

基本理念

次の世代に豊かな自然や生活を残すため、地球環境の保全が最重要課題であると認識し、昭和電工株式会社の「レスポンシブル・ケアに関する行動指針」に基づき、環境保全に配慮した事業活動を行う。

基本方針

昭和電工（株）堺事業所は、アルミニウム板製品、アルミニウム箔製品、及びアルミニウム鋳塊の開発、設計、製造、販売を実施しており、本社の基本理念に沿って、瀬戸内海に面する泉州の豊かな自然環境を守り、生物多様性及び生態系保護を図るために技術的、経済的に可能な限りの範囲で、当事業所内の全部門において目的・目標を設定し、見直しを行い、継続的改善を図る。

- (1) 当事業所の活動・製品・サービスがかかわる環境側面を常に認識し、環境への負荷やこれに係る対策の成果を把握し、これら環境パフォーマンスを向上させるために、環境マネジメントシステムの適切性、妥当性、及び有効性の継続的改善を図る。
- (2) 当事業所の活動・製品・サービスにかかわる関連法規・規則・協定及び当事業所が同意するその他要求事項を順守する。
- (3) 当事業所の活動・製品・サービスにかかわる環境側面のうち、生産活動におけるエネルギー（電気、都市ガス）消費量の削減を環境管理重点テーマとして取り組むと共に継続的改善を図る。

この環境方針は、要望に応じ利害関係者に広く公開する。

2018年 6月 1日

昭和電工株式会社

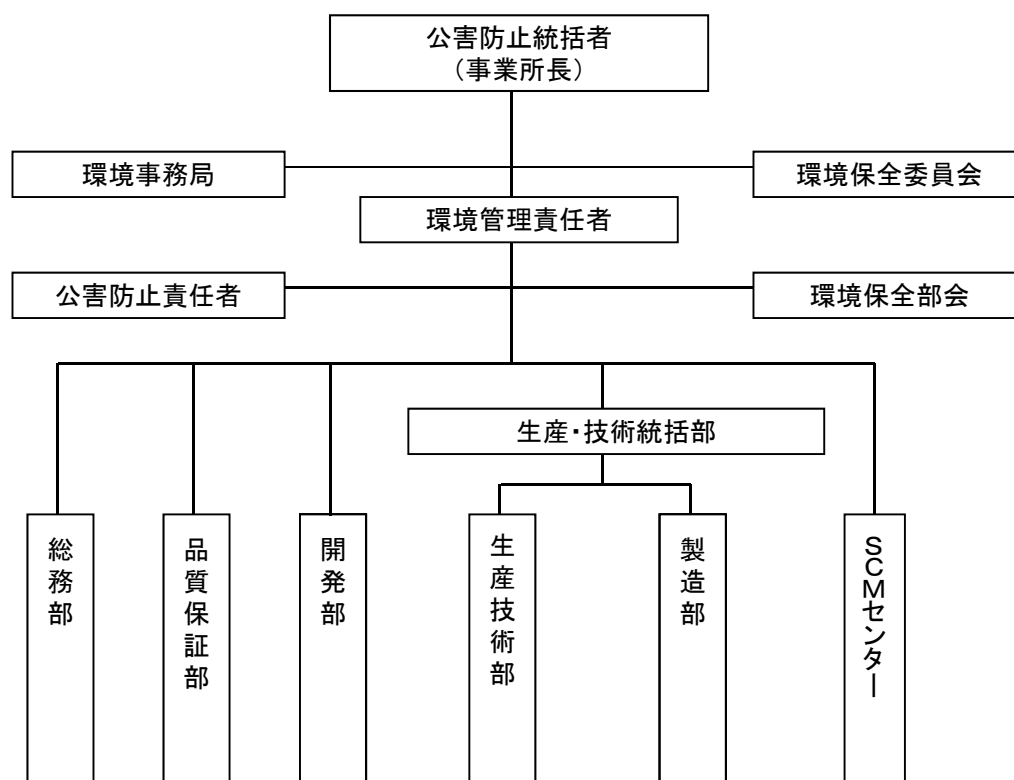
堺事業所

事業所長

猪川 克彦

環境組織図

環境活動を推進し着実に成果を上げるためには、経営トップの意志を職場で働く全ての人に浸透させる組織が必要であり、堺事業所では次のように運営しています。



環境目標と活動実績

2015年からのエネルギー使用量削減活動は、2014年を基準年とする中期削減計画に基づき進められてきました。

中期削減計画の3年目となる2017年は目標を0.44%上回るエネルギー使用量削減を達成しました。今後も継続して環境負荷低減への活動を展開していきます。

サイト活動

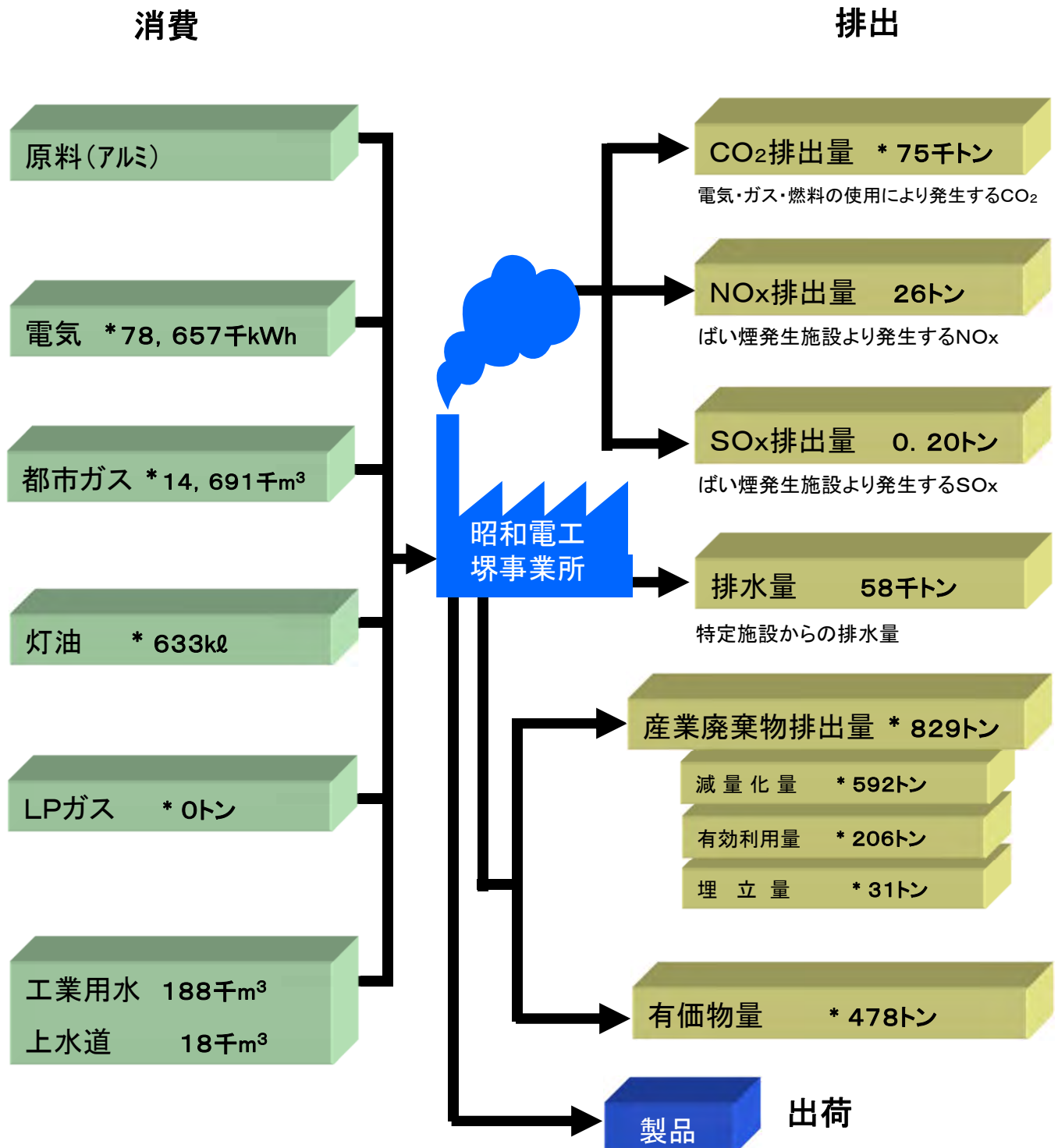
環境項目	2017年目標	2017年実績
エネルギー使用量削減(対2014年比) (原油換算)	641.18kℓ/年(1.97%削減)	786.36kℓ/年(2.41%削減)

環境負荷の概要

堺事業所では、原料・資材・エネルギー（電気・ガス等）を消費し、製品を製造しています。生産活動に伴い、排ガス・排水・廃棄物が排出されます。

堺事業所全体の環境負荷を明確にし、環境活動を積極的に展開していきます。

* 項目は2017年度（2017年4月～2018年3月）のデータです。



環境活動

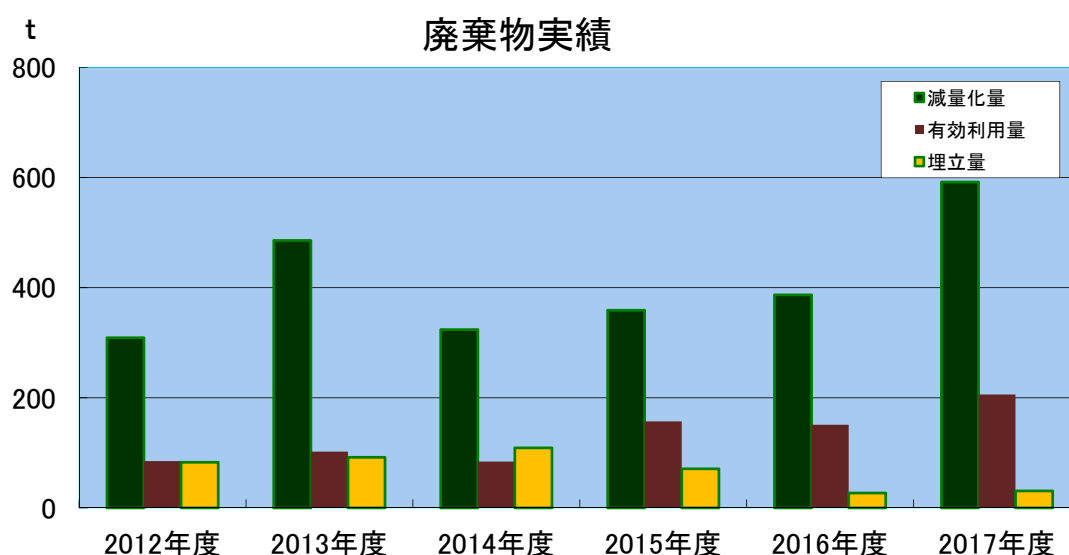
堺事業所では、環境負荷の低減に向けた活動に取り組んでいます。
今後も継続して環境負荷低減に努めていきます。

■ 廃棄物削減活動

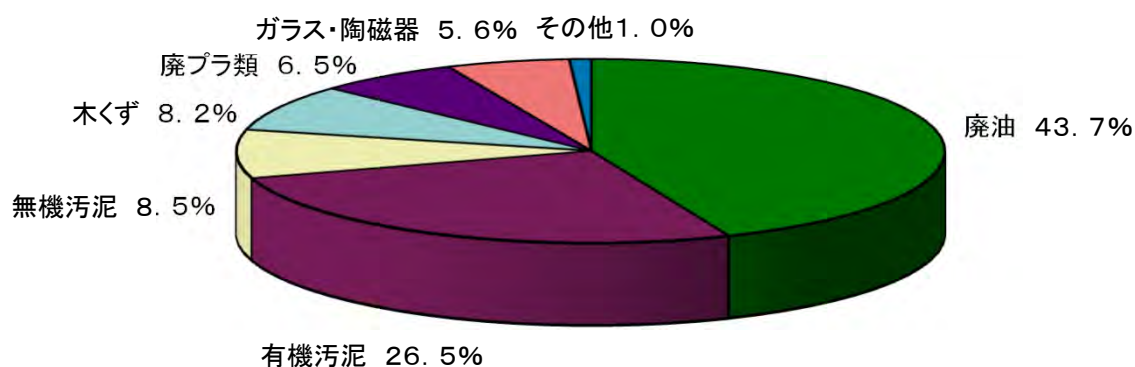
産業廃棄物削減の取り組みとして、廃棄物の有価物への転換による再利用、再資源化を行っています。

2017年度の産業廃棄物量は829トンでした。内訳は減量化量592トン、有効利用量206トン、埋立量31トンとなっています。

埋立処分としていた廃棄物の有効利用を進めています。
尚、有価物は油類、金属等で478トンありました。

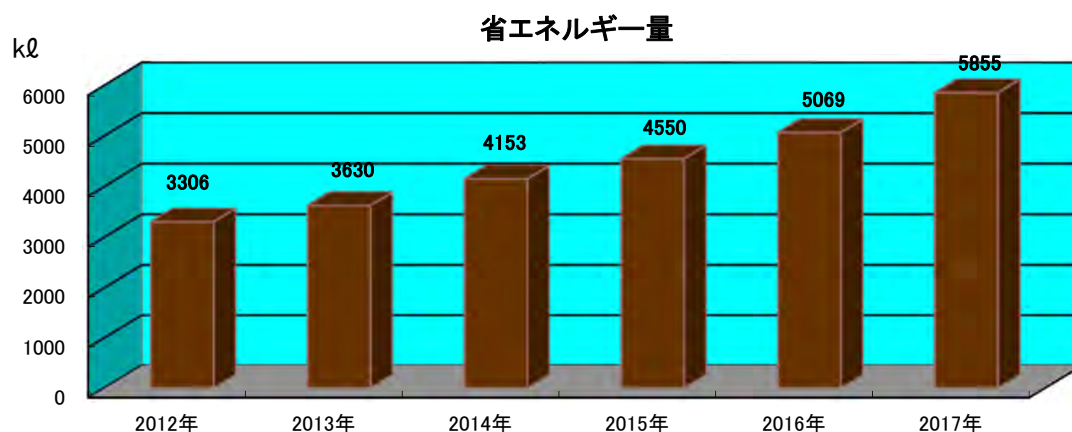


産業廃棄物排出割合(829トン)



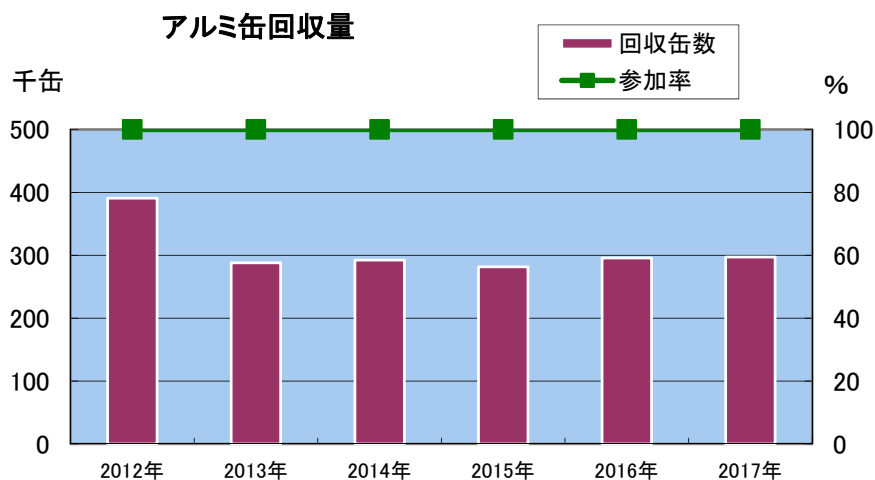
■ 省エネルギー活動

ISO14001の取り組み課題としてエネルギー削減活動を展開しています。
1999年を基準年とした 2017年の原油換算削減量は5,855klでした。



■ アルミ缶リサイクル活動

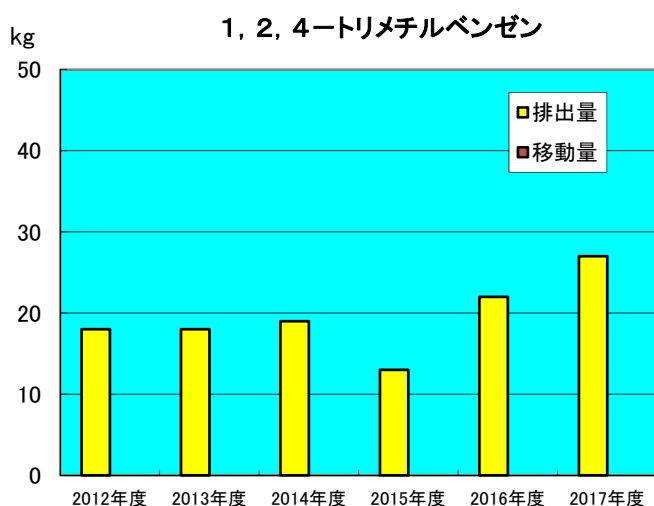
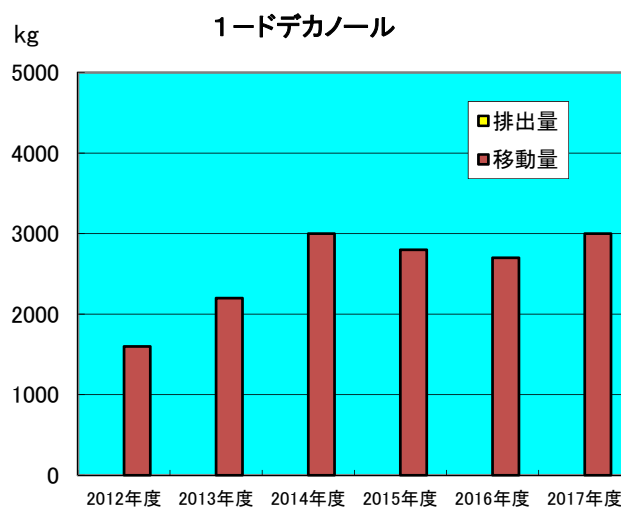
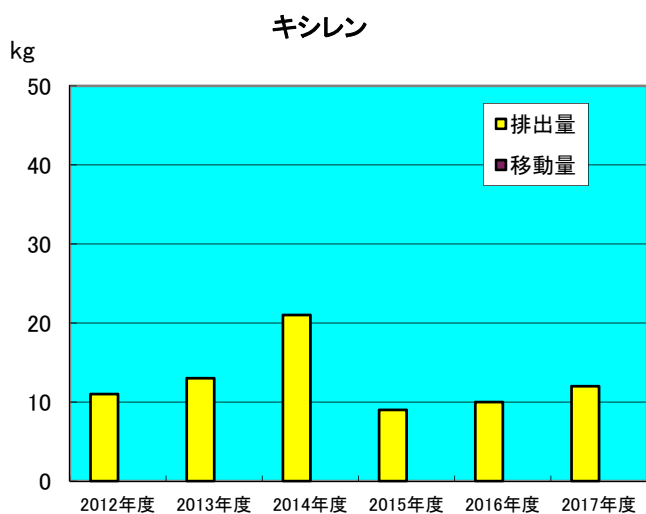
堺事業所では、昭和電工グループが展開するアルミ缶リサイクル活動に参加しており、アルミ缶回収量アップ及び全員参加を目標としています。アルミ缶回収を通して省資源、省エネルギー活動に努めています。



■ 化学物質管理

PRTR法に基づく化学物質排出量、移動量の届出を行っています。

灯油に含まれるキシレン及び1, 2, 4-トリメチルベンゼンは大気に排出されます。また、生産工程で使用する溶剤に含まれる1-ドデカノールは、溶剤とともに回収され、産業廃棄物として処理されています。



PRTR法

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組みです。

環境負荷データ

堺事業所では、事業活動に伴う環境負荷を定期的に測定しています。
また、独自に自主管理基準を設定して管理しています。

■工業用水、上水道使用量

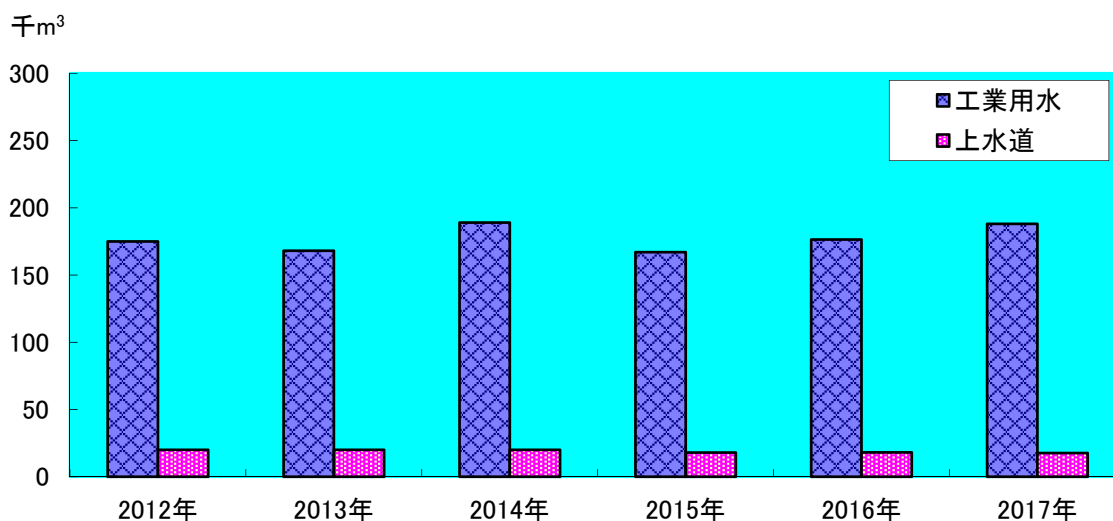
2017年における水使用量は、工業用水で188千 m^3 、上水道で18千 m^3 でした。

工業用水は下水道法に基づく特定施設及び除害施設で多く使用されており、使用後の廃水は廃水処理施設で中和処理した後、排水しています。

事業所最終放流口であるNO.1及びNO.2排水口では、監視機器により24時間水質を監視しています。

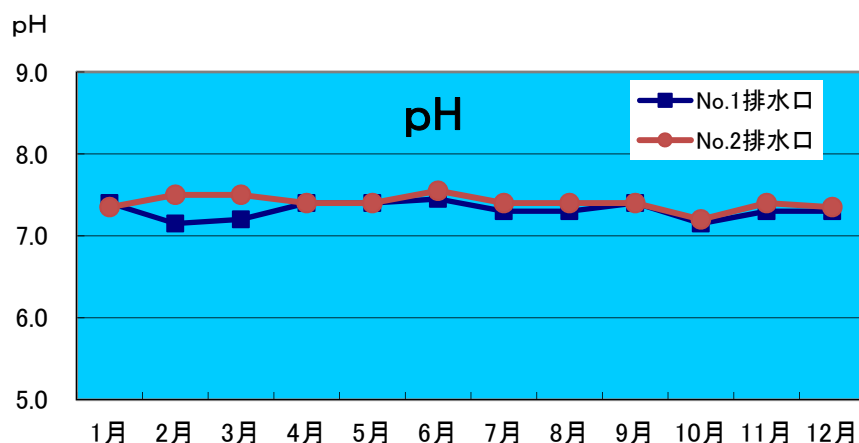
また、異常発生時には事業所外に水を排出させないように、最終放流口に緊急遮断装置や緊急貯槽を設置しています。

水使用量



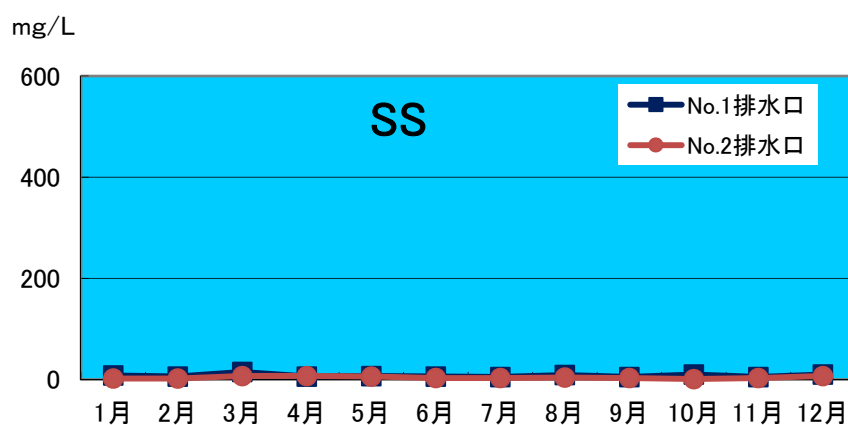
■ 水質測定結果

2017年の特定排水口における主な水質測定結果は以下の通りです。



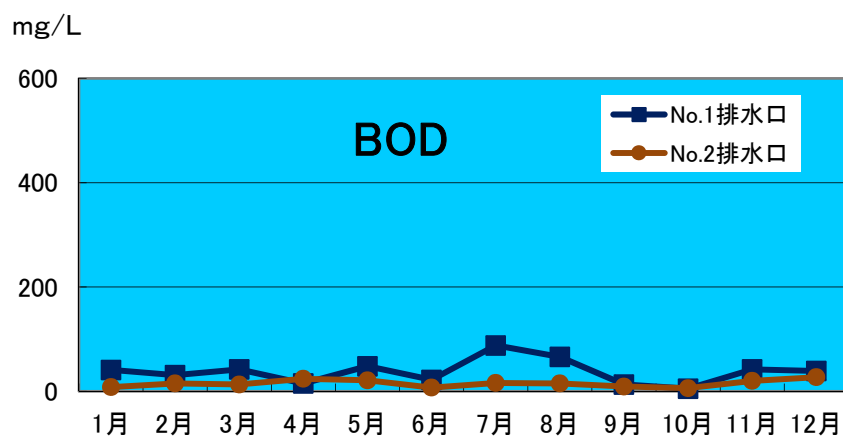
下水排除基準 : 5.0を超え～9.0未満

pH : 酸性、アルカリ性の指標。7が中性、7未満が酸性、7を超えるとアルカリ性。



下水排除基準 : 600mg/L未満

SS : 汚濁度の指標。水に溶けずに浮遊している粒径2mm以下の物質。



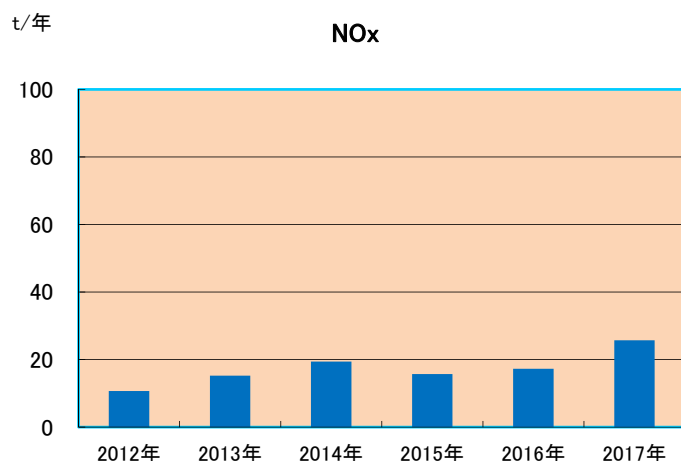
下水排除基準 : 600mg/L未満

BOD : 生物化学的酸素要求量 有機物の指標。数値が高いほど有機物が多い。

■大気測定結果

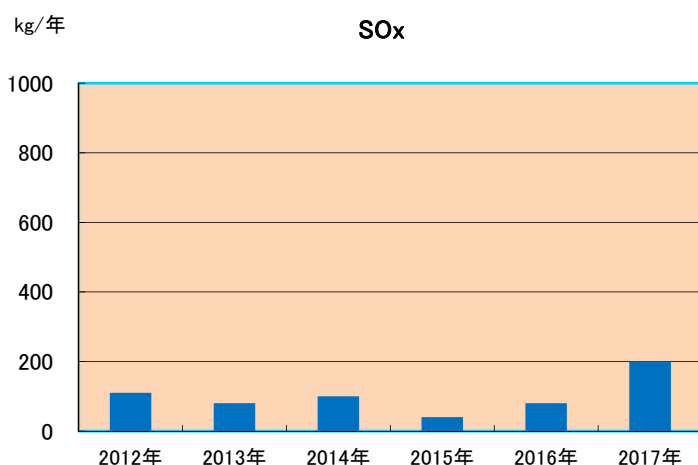
堺事業所内には、主に都市ガスを燃料にしたばい煙発生施設や、灯油を使用した施設があります。

各施設の排ガス測定は6ヶ月毎(1箇所のみ2ヶ月毎)に行い、大気汚染物質の排出が基準値未満であることを確認しています。下のグラフは、ばい煙発生施設からの大気汚染物質の年間排出量を示しています。



: NOx(ノックス)

窒素酸化物のことで、一酸化窒素と二酸化窒素の混合物をいう。



: SOx(ソックス)

硫黄酸化物のことで、二酸化硫黄、三酸化硫黄および三酸化硫黄が大気中の水分と反応して生成する硫酸ミストの混合物をいう。

教育訓練・啓発

従業員一人ひとりが環境に関心を持ち行動しなければ、堺事業所の環境を維持する事はできません。下記の通り環境教育を定期的に行い、従業員の環境保全意識を高めています。

■ 内部監査員教育

環境マネジメントシステム(ISO14001)に関する内部監査員の力量を向上させるために年1回の教育を行い、レベルアップを図っています。

■ 一般教育

堺事業所オリジナルの教育テキストを作成し、全従業員を対象に、年1回の環境教育を行っています。

■ 緊急事態対応訓練

ISO14001では、環境に影響を与える可能性のある緊急事態に備えた対応訓練を実施することが必要とされています。

毎年堺事業所内の各部門で、緊急事態に備えた対応訓練を実施しています。

■ 防災訓練

2017年9月5日には「大阪880万人訓練」に合わせ、堺事業所においても防災訓練を実施しました。

訓練を継続して行うことで、安全にかつ迅速、的確な行動を身につけ、事業所内外への被害拡大防止に努めてまいります。

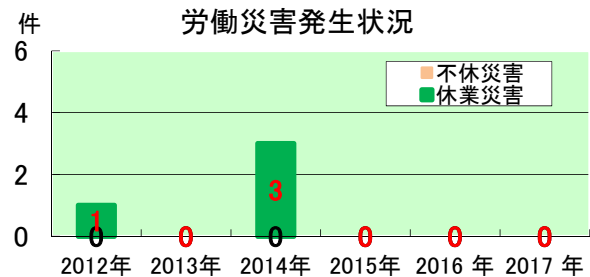


安全衛生

従業員一人ひとりが安全と健康の重要性を認識し、安全の確保、健康の促進をめざし、活動しています。安全で快適な職場環境づくりを進めています。

■ 労働災害の状況

堺事業所では、安全人間づくり、設備と作業の安全化、5S活動を安全活動の3本柱とした徹底した活動の展開により、2015年以降無災害を継続しています。



安全祈願（2018年3月1日）

過去の重篤災害を教訓に、安全最優先で行動するという風土を次の世代、またその次の世代へと風化させることなく永遠に繋げていく思いを込めて、『安全の誓い』の碑の前で安全祈願を行いました。



■ 安全活動

堺事業所では、安全スローガン「決めた事 守り 守らす 安全職場 みんなで築く無災害」を掲げ安全活動に取り組んでいます。KY活動、ヒヤリハットの抽出、相互注意活動、リスクアセスメント活動、非常時作業時のミーティング、災害事例教育、安全体感教育等の地道な活動を通じて、従業員の安全感性を高め、「安全人間」の形成に努めています。

■ 作業環境測定

堺事業所内には、労働安全衛生法に基づく作業環境測定が必要な職場があります。適正な作業環境を確保し、職場における従業員の健康を保持するために、年2回作業環境測定を行い、作業環境の維持、改善に努めています。

■ AED講習

堺市消防局から講師を招き、急病を想定してのAED（自動体外式除細動器）、人工呼吸の訓練を実施しています。より多くの方が体験できるよう、定期的開催しています。

■ 工場見学会

2017年11月27日、近隣自治会役員の方々を招いて工場見学会を開催しました。今後も継続するとともに、情報交換の場として多くの近隣の方々に参加して頂けるよう努めていきます。



■ 地域清掃活動

地域美化活動の一環として、定期的に構外清掃を実施しています。





昭和電工株式会社 堺事業所
2018年 サイトレポート
発行年月 2018年12月

本レポートの内容に関するお問い合わせ

昭和電工株式会社 堺事業所
総務部 環境安全チーム
〒590-8576 大阪府堺市堺区海山町6丁224番地
TEL 072-225-2531 FAX 072-225-2900